

マナーコミュニティ® 構想案

平成24年2月7日

認定NPO法人マナーキッズ®プロジェクト

1 キャッチフレーズ

- 例 「思いやりの心を世界に発信」
- 例 「おもてなしの心を世界に発信」
- 例 「挨拶が飛び交う健康タウン」

から日本の思いやり(おもてなし)の心を世界に発信

キャッチフレーズは住民から公募
運動の柱は

「挨拶運動」「クリーン作戦」「交通マナー向上」
「体力増強運動」「コミュニティ活性」他

2 コンセプト

- ・マナーキッズ教室・・・44都道府県、73,000人の幼稚園園児・小学生児童が参加
- ・「子どもは教えれば変わるー礼儀正しさのDNAは残っているー」
- ・市全幼稚園・小学校・中学校において開催
- ・子どもの変わる姿を見て、家庭、学校、地域が変わるプロジェクト
- ・マナーキッズ教室指導者に親、シニア世代が参画することによる世代間交流
- ・住民主体参画のプロジェクトにする

3 展開方法

- 2 中学校区においてモデルを作る。横展開。
- 市が音頭をとる。
- 認定NPO法人マナーキッズプロジェクト 支部
を設立し、市と連携して取り組む。
- 協力要請団体

自治会長会、民生児童委員協議会、社会福祉協議会
老人会、交通安全協会、消防団、保護司会、更生保護会
公民館、PTA、子ども会、スポーツ少年団、児童館、学童
保育、学校評議員会、商店会、ロータリー、ライオンズ、
青年会議所、企業、企業OB、駐在所、各スポーツ団体他

4 アクションプラン事例

- 第1段階

幼稚園・小学校・中学校におけるマナーキッズ教室の開催

幼稚園	マナーキッズ親子でのひらテニス教室
小学校	マナーキッズショートテニス教室
中学校	幼稚園・小学校指導のためのマナーキッズ教室

4 アクションプラン事例

・第2段階

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、文化行事におけるマナーコミュニティ教室の開催

総合型地域スポーツクラブ

マナーキッズスポーツ教室

スポーツ少年団

マナーキッズスポーツ教室

文化行事

マナーキッズコンサート
マナーキッズ料理教室

4 アクションプラン事例

・第3段階

小学校諸活動の支援・協働体制の確立

キッズ活動部門

- ・図書館部会・読み聞かせボランティア
- ・放課後 教室・伝統文化
- ・土曜学級・スポーツクラブ

地域の底力部門

- ・自然環境・育成活動
- ・地域パトロール・同窓会
- ・おやじの会・PTAサークル

学力サポート部門

- ・ボランティア

4 アクションプラン

- 第4段階

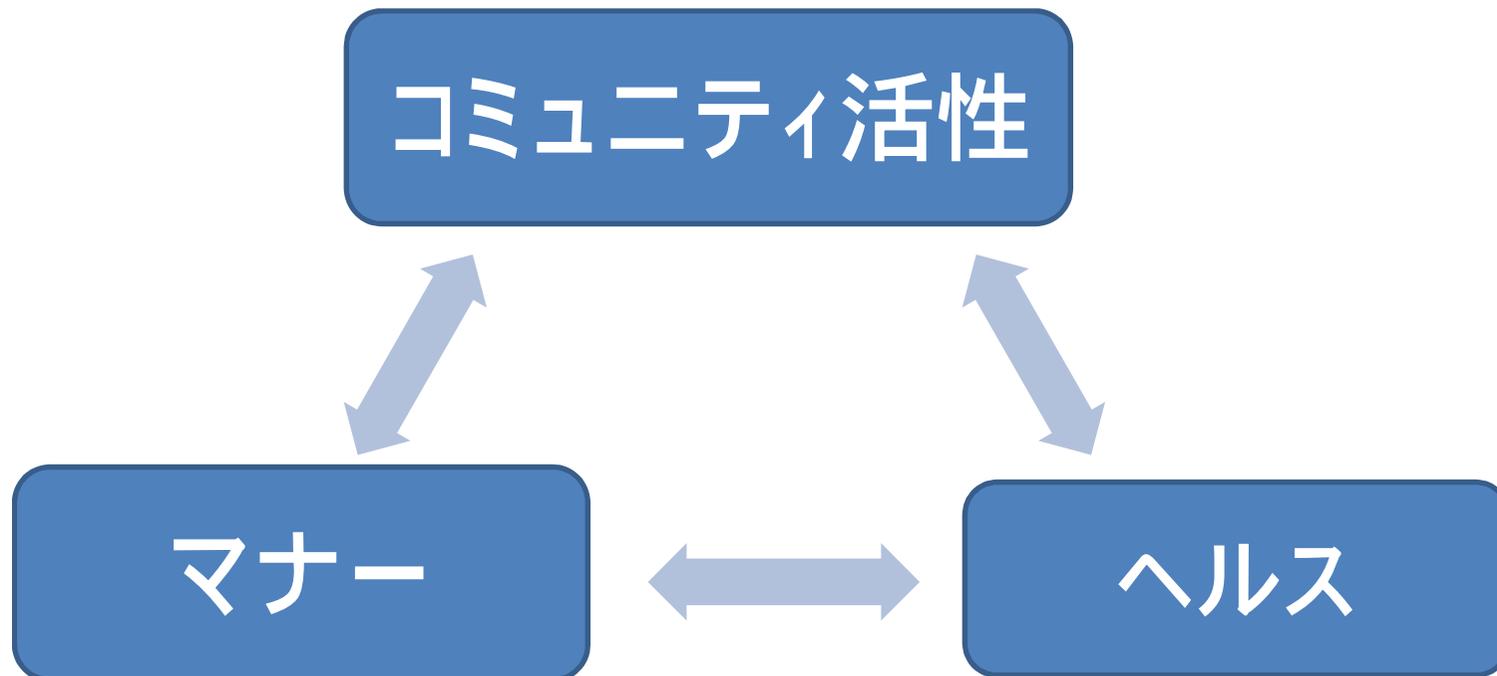
テーマ毎の作戦展開(第1～第3同時並行可)

ボランティア	清掃活動
小学校・中学校・地域	体力増強運動
小学校・中学校・地域	クリーン作戦
小学校・中学校・地域	資源回収作戦
小学校・中学校・地域	交通マナー向上作戦

5 効果測定

マナーコミュニティ指標(モデル)

マナー向上、健康増進、コミュニティ活性の好環境が生まれていることを確かめる。



5 効果測定

マナーコミュニティ指標(モデル)

- 効果測定事例(1年後、2年後、3年後・・・)

項目		現状	年後
マナー	・挨拶の質・量 ・交通事故件数		
	・ゴミ収集ルールの遵守度etc.		
ヘルス	・体力測定 ・QOL評価 ・病欠日数etc.		
コミュニティ 活性	・愛着度 ・地域イメージ ・環境負荷数値の減少etc.		

6 費用

第1段階

3ヶ年 約 万円(年約 万円)

- ・認定NPO法人マナーキッズプロジェクト 支部を設立・・・正会員、賛助会員、寄付を募る。
- ・会費、寄付により運営する。
- ・市限定協賛・賛助企業を募る。特別協賛30万円以上、協賛5万円以上、賛助1万円以上
- ・不足分は行政が補助。
- ・マナーコミュニティ・ポイントカードによる資金還流

6 費用

第2～第4段階 年 万円程度

効果測定調査研究費

早稲田大学スポーツ科学学術院

木村和彦教授

筑波大学大学院人間総合科学研究科

大森 肇教授

に研究委託